

## 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム 令和4年度自己点検・評価

評価体制：全学データサイエンス教育推進委員会

評価対象：令和4年度の「東京家政大学「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム」(MDACK)」

評価項目：文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度 (リテラシーレベル)」に準ずる

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	<p>履修データはシステムを通じ IR 部門「学修・教育開発センター」にて集約・把握している。学生の授業進度や課題提出状況・質問などは LMS で教員がモニタリングし、適切に介入し授業支援を実施している。令和4年度の履修・修得状況は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム履修状況 当初 50 名程度の想定としていたが、応募多数に伴い 80 名受講枠へ拡大した。全学部より応募があり、広報成果として一定の認知度も獲得できたと評価できる。</li> <li>・単位修得状況 プログラム受講者 79 名に対し、単位取得者は 72 名 (秀 51 名 (70%)、優 17 名 (24%)、良 2 名 (3%)、可 3 名 (3%)) であり、リテラシーレベルの内容として概ね適切な成績評価と単位認定が行われたと判断できる。</li> </ul>
学修成果	<p>「全学データサイエンス教育推進委員会」と「学修・教育開発センター」協同で修了生の成績分析を通じ、学修成果およびスキル習得の質保証を図る体制を構築している。今後は修了生の関連専門科目の学修成果との結びつきを追跡し、在学期間全体を通じての学修成果可視化を図ることとしている。</p> <p>プログラム学修成果は HP 等にて公表し、周知に努めている。目標の習熟度は毎回小テスト等により確認し、成績評価で内容理解・復習する観点を重視することで学修成果の定着を図った。</p> <p>授業終了後には 2 種のアンケートにて理解度等を分析し、プログラム取組の適切性を図っている。アンケート結果については担当者間で共有し、次年度以降の改善検討に用いている。</p>
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	<p>本学では、全科目に対して授業アンケートを実施している。このアンケート回答結果から各科目に対する受講生の内容理解度を把握している。本プログラムの修了生に対しては、さらに独自のアンケートを実施し、プログラム基幹科目「データサイエンス基礎」に対する理解度、メディア授業の効果、サポート体制についての満足度などについて調査し、次年度以降のプログラム改善に繋げることとしている。</p> <p>令和4年度は履修者 79 名に対し、授業アンケートは 51 名、独自アンケートは 55 名から回答を得られ、それぞれ 90%以上が「授業の到達目標の達成度を達成 (ほぼ達成) できた」、「授業の内容を理解 (ほぼ理解) できた」と回答している。</p>
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	<p>令和4年度「データサイエンス基礎」授業評価アンケート結果では、上記の通り達成度・理解度について学生から高い評価を得ているため、口コミでの推奨が期待できる。また、このようなアンケート結果は HP より教職員学生向けに公開を行うことから、新入生を含めて今後科目を履修する学生が確認可能となる。また修了生にはヒアリングを実施し、受講満足度や後輩への推奨度が高い旨のコメントを得ている。</p> <p>後輩等他の学生への推奨度を測定するアンケートは実施していないため、今後は項目の見直し等を検討する。</p>
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	<p>「全学データサイエンス教育推進委員会」が中心となり共通教育推進部と協同で、「データサイエンス基礎」の履修状況の分析、履修率向上に向けた次年度計画の立案、進捗状況の管理を実施する。併せて毎年、本学 HP やガイドブック、チラシなどによる新入生向けの広報の実施、高品質な「データサイエンス基礎」の科目紹介および履修登録方法に関する動画の更新を行う。各種取り組みを経て、履修希望者の変動を R5 年度以降の検証により確認する。なお、令和6年度は小・中・高教職課程希望者必修とすることで約 700 名、令和7年度には全学必修化により約 1600 名が履修対象となるため、学年進行に伴い履修率 100%となる。</p>

学外からの視点	
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	<p>本学の全学的な MDACK 教育プログラムが開設されたのは令和 4 年度（2022 年度）であるため、本プログラム修了者の卒業生は現時点ではない。そのためこの項目に関しては今後の取り組みとなる。</p> <p>本学の取り組みとして卒業時アンケートおよび採用先ニーズ調査にて卒業生の実態を把握しているため、本プログラム修了生の枠組みでの分析も検討する。</p>
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	<p>本学では毎年「キャリア支援センター」が卒業生の就職先を対象に、企業からみた本学卒業生に対するアンケートを実施している。回答のうちデータサイエンス関連スキルについて分析を実施し、その結果をもとに MDACK 教育プログラムで習得させるべき具体的なスキルの洗い出しと「データサイエンス基礎」科目の内容の点検・評価・改善に努める。</p> <p>また、担当教員として民間企業出身の実務家教員も配置し、さらに産業界出身の本学教員にもゲストスピーカーとして参画を求めることで、産業界からの視点を含めた教育プログラムを実施している。</p>
数理・データサイエンス・AI を「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	<p>「データサイエンス基礎」は 14 回の講義を 3 人の専任教員が単元毎に担当し、毎回オリジナルの講義内容を動画配信している。</p> <p>講義は「データサイエンスが本学すべての学部・学科の学問領域に通底する知識体系である」点や、そもそものデータサイエンスの概念等を最初に丁寧に説明することで、受講生が「データサイエンス基礎」の学修と各学科における専門教育とのつながりや学ぶことの意義を実感できるカリキュラムとしている。</p> <p>さらにデータサイエンス初学者であっても、実社会における産業界や研究面での具体的な活用事例を高品質な動画教材で提供・紹介することで、本科目の学ぶ楽しさを実感できる設計となっている。</p>
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること	<p>本学では全開講科目に対して授業評価アンケートを実施しており、学生の理解度と学修到達度を把握することで授業内容の一定水準を維持している。併せて授業改善に繋がる課題点の抽出と次年度に向けた次善策の検討を行っている。</p> <p>また、学修・教育開発センターが主催する全学 FD 研修会（毎年、複数回の実施）を通して「教授法」、「評価法」、「単位の質保証」などの向上に努めている。</p> <p>また本科目担当教員の中には「オンデマンド授業の心理的効果」や「メディア授業教材」に関する研究をしているものもあり、その研究成果は FD として学内に公開するとともに、本科目の分かりやすい授業設計に活用されている。</p>

2022年度後期 授業アンケート(科目別) the results of the Class Questionnaire.

1193

教員名	天野美穂子／小池新／新関隆						
科目名	データサイエンス基礎《対象:大1全》	必修／選択		履修者数	78	回答者数	51
曜日	その他	時限	その他	学部	共通教育推進室	学科	共通教育推進室

注)学部・学科は当授業の担当責任部局を表します。

No.	設問文 questions	科目平均 average ○・・・3点以上 (○・・・more than 3)	度数(人)／構成比(%)			
			A	B	C	D

※平均点については4点法で算出しております。A=4pt,B=3pt,C=2pt,D=1pt

A この授業へのあなた自身の取組みについて Your approach to this course

No.	設問文 questions	科目平均 average	度数(人)／構成比(%)			
			A	B	C	D
A-1	予習や事前学修にかけた時間は、各回の授業についてどのくらいでしたか。 How much time did you take preparing and pre-learning each week before this class?	1.67	2時間以上 (2 hours or more) 0 0.0%	1時間～2時間 (1 to 2 hours) 7 13.7%	1時間以内 (Within 1 hour) 20 39.2%	ほとんどしなかった (Never) 24 47.1%
A-2	各回の授業後に、この授業に関連する学習(復習など)をどのくらいしましたか。 How much time did you take review each week after this class?	2.35	2時間以上 (2 hours or more) 4 7.8%	1時間～2時間 (1 to 2 hours) 18 35.3%	1時間以内 (Within 1 hour) 21 41.2%	ほとんどしなかった (Never) 8 15.7%

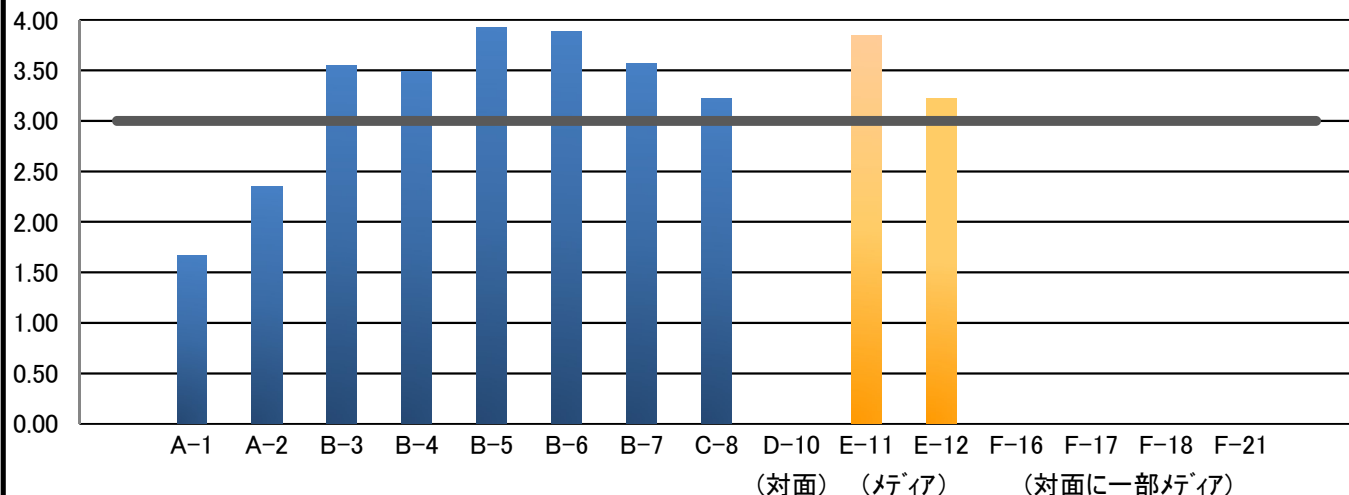
B この授業について The course

No.	設問文 questions	科目平均 average	○	度数(人)／構成比(%)			
				A	B	C	D
B-3	教員の説明はわかりやすかったですか。 Were your instructor's explanations easy to understand?	3.55	○	わかりやすかった (Very much) 29 56.9%	まあわかりやすかった (Quite a lot) 21 41.2%	あまりわかりやすくなかった (A little) 1 2.0%	わかりにくかった (Not at all) 0 0.0%
B-4	授業内容に興味がわくように工夫されていましたか。 Was your class well designed for the students?	3.49	○	工夫されていた (Very much) 25 49.0%	まあ工夫されていた (Quite a lot) 26 51.0%	あまり工夫されていなかった (A little) 0 0.0%	工夫されていなかった (Not at all) 0 0.0%
B-5	小テストやレポートなど、授業内容に関する課題が出されましたか。 Did you have small tests, papers or any other assignments?	3.92	○	毎回またはほぼ毎回あった (Most of the time) 47 92.2%	ときどきあった (Some of the time) 4 7.8%	めったになかった (Not very often) 0 0.0%	まったくなかった (Never) 0 0.0%
B-6	授業内容はシラバスと合致していましたか。 Did the course content match the syllabus?	3.88	○	合致していた (Very much) 45 88.2%	ほぼ合致していた (Quite a lot) 6 11.8%	あまり合致してなかった (A little) 0 0.0%	まったく合致してなかった (Not at all) 0 0.0%
B-7	この授業を全体的にみたととき、どの程度満足していますか。 Overall, how satisfied are you with this class?	3.57	○	満足 (Satisfied) 30 58.8%	やや満足 (Slightly satisfied) 20 39.2%	やや不満 (Not satisfied) 1 2.0%	不満 (Not sure) 0 0.0%

C 授業の到達目標の達成度 Achievement of course goals

No.	設問文 questions	科目平均 average	○	度数(人)／構成比(%)			
				A	B	C	D
C-8	授業の到達目標について、あなたの達成度を自己評価してください。 Please evaluate your level of achievement of course goals.	3.22	○	達成できた (Very much) 16 31.4%	ほぼ達成できた (Quite a lot) 30 58.8%	あまり達成できなかった (A little) 5 9.8%	達成できなかった (Not at all) 0 0.0%

各設問ごとの平均点 Average



※設問D～Fの度数(人)や構成比(%)については、次ページを参照ください

## 2022年度後期 授業アンケート(科目別) the results of the Class Questionnaire.

授業をどのように(対面・メディア・それらの混合)受けたのか、学生の判断によって回答する設問が異なります。なかには本来と異なる授業形態を選択した学生がいるかもしれません。その場合、極端に少ない回答数(母数)で回答率や平均値が算出される場合がございます。ご了承ください。

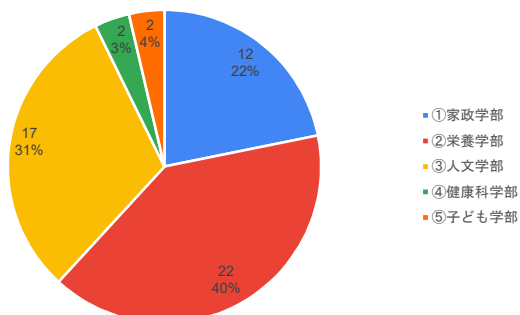
No.	設問文 questions	科目平均 average ○・・・3点以上 (○・・・more than 3)	度数(人)／構成比(%)			
			A	B	C	D
<b>&lt;対面/メディア(条件分岐)&gt; face to face/media(conditional branch)</b>						
	授業はどのように受けましたか。 Is your class type face to face or media?		すべて対面 (Only face to face)	すべてメディア(オンデマンド、リアルタイム) (Only media(on demand or realtime))	対面に一部メディアの組み合わせ (Both face to face and media)	
			0 0.0%	51 100.0%	0 0.0%	
<b>【すべて対面】D 対面授業について 【Only face to face】D Face to face class Qs</b>						
D-9	授業の内容を授業中に理解できなかったとき、 どうしましたか。 When you didn't understand class content or had questions, did you ask your instructor questions?		担当教員に質問した (Yes, I did.)	ほかの学生等に質問した (No, I didn't. I asked other people.)	自分で調べたり考えたりした (No, I didn't. I research or thought about it myself.)	理解できないことはなかった (No, I didn't. Because I understood everything.)
			0 -	0 -	0 -	0 -
D-10	プレゼンテーション、グループワーク、意見交換など、 学生が参加する機会がありましたか。 Did you have opportunities to take an active part in this course? (e.g., group work, presentation)	-	毎回のようであった (Most of the time)	ときどきあった (Some of the time)	あまりなかった (Not very often)	まったくなかった (Never)
			0 -	0 -	0 -	0 -
<b>【すべてメディア】E メディア授業について 【Only media】D Media class Qs</b>						
E-11	メディア授業の学修に関する指示は明確でしたか。 Were the instructions from the teacher clear in the media class?	3.84 ○	明確だった (Clear)	やや明確だった (Slightly clear)	やや不明確だった (Not clear)	不明確だった (Never)
			43 84.3%	8 15.7%	0 0.0%	0 0.0%
E-12	メディア授業1回あたりの学修時間は全部でどのくらいでしたか。※予習・復習時間を除く、 メディア授業の視聴や資料の閲覧にあてた時間 How long was the total study time per media lesson?	3.22 ○	1.5時間以上 (1.5 hours or more)	1～1.5時間 (1 to 1.5 hours)	0.5～1時間 (0.5 to 1 hours)	0.5時間未満 (Less than 0.5 hours)
			19 37.3%	24 47.1%	8 15.7%	0 0.0%
E-13	教員に質問する機会や仕組みが用意されていたか。 Did you have opportunities or mechanism to ask questions in the media class?		あった。利用した。 (Yes, I used it.)	あった。利用しなかった。 (Yes, But I didn't use it.)	なかった。利用したかった。 (None, I wanted to use it.)	なかった。必要なかった。 (None, I didn't need it.)
			9 17.6%	40 78.4%	0 0.0%	2 3.9%
E-14	学生どうしが意見交換を行う機会や仕組みが用意されていたか。 Did you have the opportunity or mechanism for students to exchange opinions in the media class?		あった。利用した。 (Yes, I used it.)	あった。利用しなかった。 (Yes, But I didn't use it.)	なかった。利用したかった。 (None, I wanted to use it.)	なかった。必要なかった。 (None, I didn't need it.)
			0 0.0%	15 29.4%	2 3.9%	34 66.7%
<b>【対面に一部メディアの組み合わせ】F 対面に一部メディアを組み合わせた授業について 【Both face to face and media】D Face to face class Qs</b>						
F-15	授業の内容を授業中に理解できなかったとき、 どうしましたか。 When you didn't understand class content or had questions, did you ask your instructor questions?		担当教員に質問した (Yes, I did.)	ほかの学生等に質問した (No, I didn't. I asked other people.)	自分で調べたり考えたりした (No, I didn't. I research or thought about it myself.)	理解できないことはなかった (No, I didn't. Because I understood everything.)
			0 -	0 -	0 -	0 -
F-16	プレゼンテーション、グループワーク、意見交換など、 学生が参加する機会がありましたか。 Did you have opportunities to take an active part in this course? (e.g., group work, presentation)	-	毎回のようであった (Most of the time)	ときどきあった (Some of the time)	あまりなかった (Not very often)	まったくなかった (Never)
			0 -	0 -	0 -	0 -
F-17	メディア授業の学修に関する指示は明確でしたか。 Were the instructions from the teacher clear in the media class?	-	明確だった (Clear)	やや明確だった (Slightly clear)	やや不明確だった (Not clear)	不明確だった (Never)
			0 -	0 -	0 -	0 -
F-18	メディア授業1回あたりの学修時間は全部でどのくらいでしたか。※予習・復習時間を除く、 メディア授業の視聴や資料の閲覧にあてた時間 How long was the total study time per media lesson?	-	1.5時間以上 (1.5 hours or more)	1～1.5時間 (1 to 1.5 hours)	0.5～1時間 (0.5 to 1 hours)	0.5時間未満 (Less than 0.5 hours)
			0 -	0 -	0 -	0 -
F-19	教員に質問する機会や仕組みが用意されていたか。 Did you have opportunities or mechanism to ask questions in the media class?		あった。利用した。 (Yes, I used it.)	あった。利用しなかった。 (Yes, But I didn't use it.)	なかった。利用したかった。 (None, I wanted to use it.)	なかった。必要なかった。 (None, I didn't need it.)
			0 -	0 -	0 -	0 -
F-20	学生どうしが意見交換を行う機会や仕組みが用意されていたか。 Did you have the opportunity or mechanism for students to exchange opinions in the media class?		あった。利用した。 (Yes, I used it.)	あった。利用しなかった。 (Yes, But I didn't use it.)	なかった。利用したかった。 (None, I wanted to use it.)	なかった。必要なかった。 (None, I didn't need it.)
			0 -	0 -	0 -	0 -
F-21	対面授業とメディア授業の組み合わせであったことで、 学修の効果は感じましたか。 Did you feel the effect of learning because it was a combination of face-to-face class and media class?	-	感じた。 (Very much)	やや感じた。 (Quite a lot)	あまり感じなかった。 (A little)	感じなかった。 (Not at all)
			0 -	0 -	0 -	0 -

令和4年度データサイエンス基礎ヒアリング調査結果

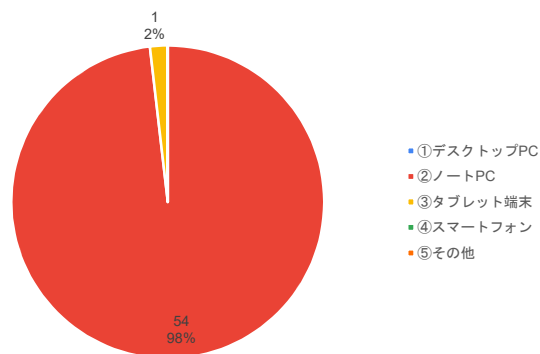
ID	学科	1. 「データサイエンス基礎」の受講を他の学生に推奨したいですか？推奨したくないですか？その理由とあわせて教えてください。 (※どのような点がお勧めできるか（もしくはお勧めできないのか）、受講してよかった（もしくはよくなかった）と思うのはどのような点か等)	2. 「データサイエンス基礎」に、教員以外にも、気軽に質問できるティーチングアシスタントは必要だと思いますか？特に必要はないと思いますか？その理由とあわせて教えてください。
1	児教	推奨したいです。理由としては、講義内容が、私の場合だと教育、その他にも様々な分野で活かせると受講していて感じたからです。さらに、大学からパソコンを使うようになった私にとって、少々難しい講義がありましたが、動画を何回も見直して実践していくうちに、上手く扱えるようになったので、私と同じく苦手だと感じている人にもオススメできると思います。また、受講して良かった点に関しては、自分の学科で学んでいるだけでは得られないような知識が得られたという点や、集中講義でメディア授業なので、ある程度自分のペースで進めることができるという点などがあげられます。	1でも述べたように、少々難しいと感じる講義はあったので、ティーチングアシスタントが居るとありがたいと思います。ただ、パソコンが苦手な私でも、ティーチングアシスタントなしで終わることができたので、ティーチングアシスタントは必須ではないと考えます。
2	英コミ	推奨したい。夏休み中に集中的に受講でき、課題提出方法が毎回違うためこれからパソコンを使用する授業に役立つと感じた。	必要ないと思う。基礎なので先生や受講している友人に質問すれば解決したと感じる。先生の返信が早かったため特に困らなかったが、質問に返信がないと次に行けずどんどん講義が溜まってしまう恐れがあるためティーチングアシスタントがあると良いのかもしれない。

## 1. あなたご自身や受講環境についてお伺いします。

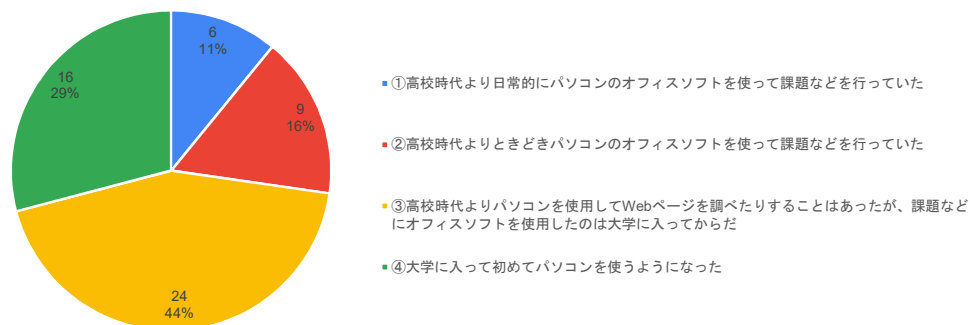
(1) あなたの所属学部を教えてください。



(2) 授業動画を視聴した際、どのような情報機器を使用しましたか。

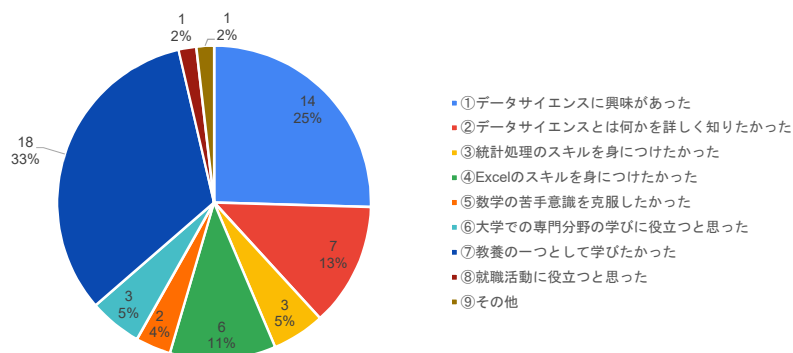


(3) あなたのPCでのオフィスソフトの使用経験について、以下の中で最もあてはまるものを1つ選んでください。



## 2. 「データサイエンス基礎」の学修についてお伺いします。

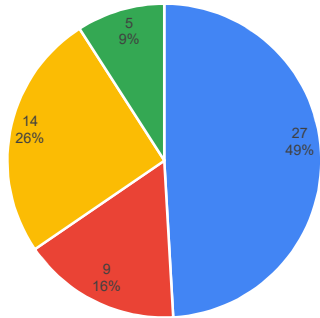
(4)「データサイエンス基礎」の受講の目的として、以下の中で最もあてはまるものを1つ選んでください。



(4)-2. 前問4で「⑨その他」を選択した方のみ、その内容を具体的に記述してください。

夏休みに受講できる点が魅力的だった

(5) 全14回の講義を構成していた以下の①～④の分野の中で、あなたが最も興味を持った分野を1つ選んでください。



- ① 現代社会におけるデータ・AIの利活用（導入） ※第1回～3回、5回、6回
- ② データ・AIを利活用する上での倫理面での留意事項（心得） ※第4回、7回
- ③ データの分析（基礎） ※第8回～13回
- ④ データサイエンスの応用例（選択） ※第14回

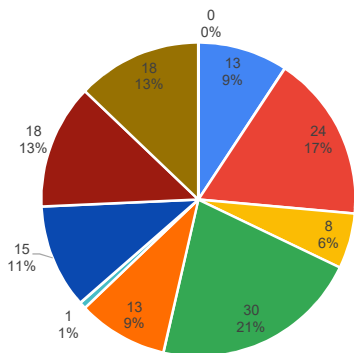
(6) 全14回の講義の内容で良かった点、改善を希望する点があれば、自由に記述してください

※授業回など、できるだけ具体的をお願いします

現代のAI技術が活用されている場面を具体的に説明してくれた所が良かったです。
第14回で、今まで習ってきた事が実際の現場でどのように利用されているかを知ることが出来たのが良かったです。
第1回、第2回の中でいきなり統計などを扱わずに、データサイエンスが利用されている身近な例を知ることから始まったのが良かった。
意味が分かっていない言葉を調べずに進めてしまったので、調べながら受講すればよかった。
自分にとって興味深い内容がたくさんあったので機会があれば詳しく勉強したいと思います。
データの分析の部分で、出来るか不安だったが、丁寧に授業で説明してくださっていた上に課題もあまり難しいものではなかったので諦めずに取り組むことができて良かった。講義の公開期間にちょうど夏期集中があって前半はなかなか進めることができなかったのに、夏季休業中の好きな時に受講できたらもう少し丁寧に取り組めたのではないかなと感じる。
データサイエンスの知識が全くない私にとって、第1回の授業で「データサイエンスとは何か」など、基礎から学べたことで、全14回の授業をスムーズに進めることができました。
第6回や第9回のように自分の意見を書く課題でフィードバックをしっかりともらえたことがよかった。
Excelの詳しい使い方を実際に使用しながら学べた事が良かったです。
どの先生方の講義でも楽しく授業を受けることが出来ました。Excelのページを見る時などにたまに、見えにくい時もありました。
最近台風が多発しているので、第1回の授業のような防災情報のえる方法を学べたのはよかった。
他の授業に応用できる内容があったので良かった。（データの読み方、excelについてなど）
良かった点として、データサイエンスとは何か、初歩的なことから知ることが出来たことが挙げられる。データサイエンスとは何か知ることによって、私たちの身の回りに沢山のデータが存在し、それらはどのような意味で、どのように扱うかを理解することが出来たように思う。
社会の中でのデータサイエンスの活用事例と数学的なデータの分析の両方を全体的に学ぶことができたため、満足度が高かった。ただ、前半の「現代社会におけるデータ・AIの利活用」に関しては、もう少し踏み込んだ内容のものを学べるとよかったかもしれない。
オンデマンド配信だったため自分のペースで学習をすることができたので良かったです。
第6回から第9回の授業動画が見やすい長さで集中を途切れさせることなく勉強に取り組むことができたと感じます。

(7) 今後、応用科目が設けられるとしたら、数理・データサイエンス・AI のどの分野を学びたいと思いますか？

以下の中であてはまるものをいくつか選んでください(複数回答)。

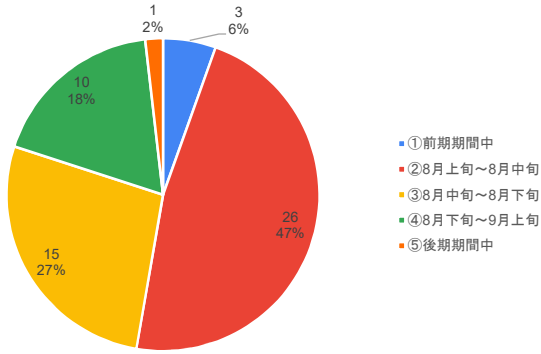


- ① 統計理論
- ② 統計データ分析
- ③ 数学基礎
- ④ プログラミング
- ⑤ 機械学習 (AIによるデータ分析)
- ⑥ テキスト解析
- ⑦ 画像解析
- ⑧ AIと社会 (AI倫理・AIの社会的受容性等)
- ⑨ 企業との連携による実データを使用したプロジェクトベースの学修
- ⑩ その他

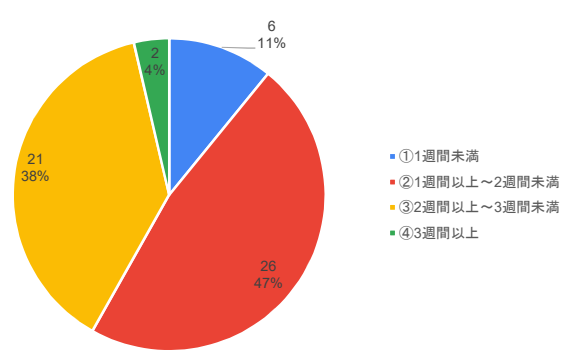
(7)-2. 前問7で「⑩その他」を選択した方のみ、その内容を具体的に記述してください。

※回答なし

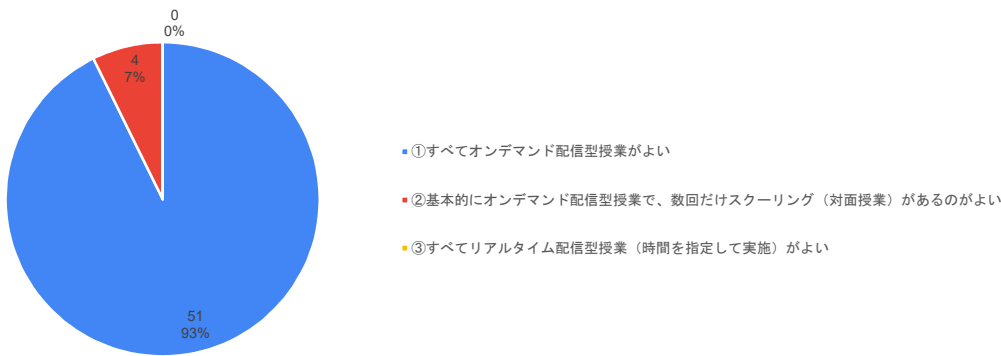
(8) 本科目の受講時期は8月22日～9月7日まででした。あなたは受講時期はいつ頃が受講しやすいと思いますか。



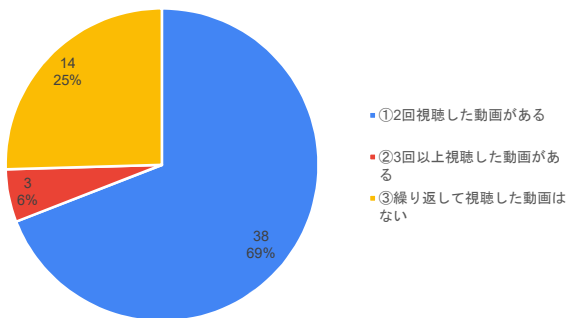
(9) 本科目の受講期間は約2週間（8月22日～9月7日）でした。受講期間はどの程度が受講しやすいと思いますか。



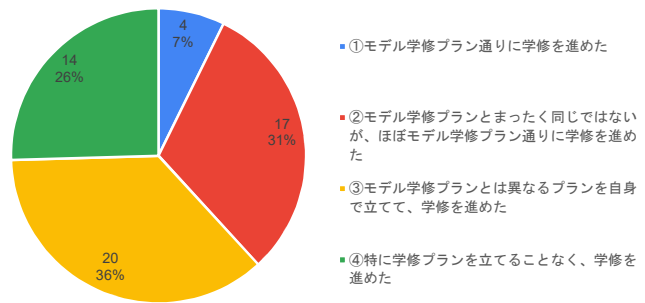
(10) 本科目は板橋・狭山の両キャンパスの学生を受講対象としているためオンデマンド配信型で実施しました。夏季など通常授業が休業時に実施する場合、あなたはどのような授業形態がよいと思いますか。以下の中で最もあてはまるものを1つ選んでください。



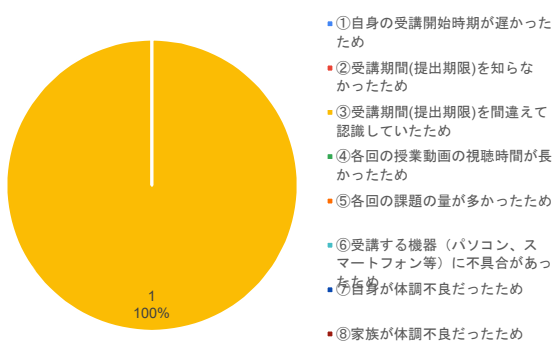
(11) 授業内容の理解を深めるために、1本の授業動画を複数回視聴したことはありましたか。



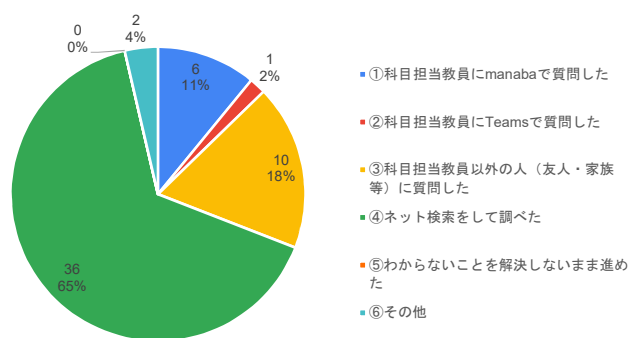
(12) 開講前にモデル学修プラン（2週間かけて履修する場合のモデルケース）を提示しました。あなたは実際はどのように学修を進めましたか。もっともあてはまるものを1つ選んでください。



(13) 受講期間内にすべての課題の提出ができなかった人のお伺いします。その理由について、以下の中でもっともあてはまるものを1つ選んでください。



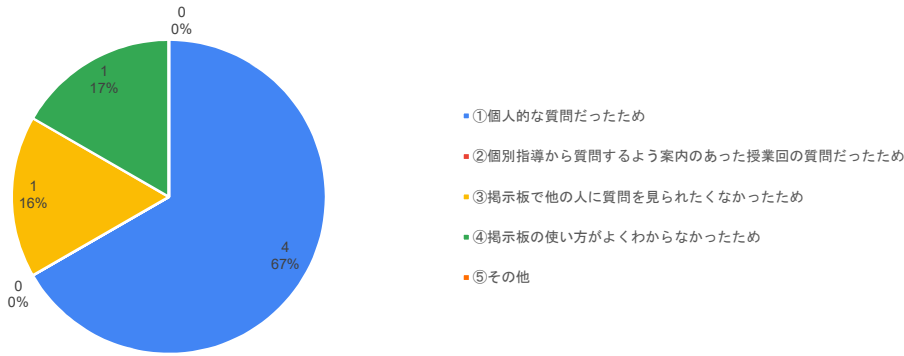
(14) 学修を進める上でわからないことがあった際、あなたはどのように対処しましたか。もっともあてはまるものを1つ選んでください。





(14)-2 前問で「①科目担当教員にmanabaで質問した」を選択した人に伺います。

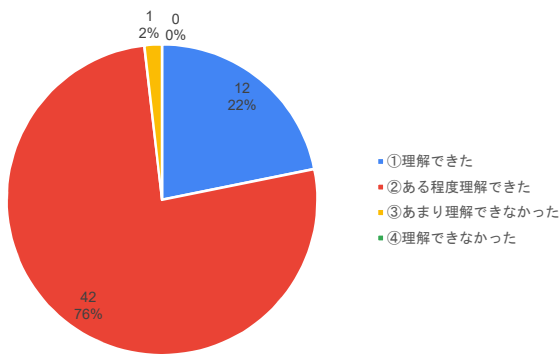
manabaの「掲示板」ではなく「個別指導」から質問をした理由として、以下の中でもっともあてはまるものを1つ選んでください。



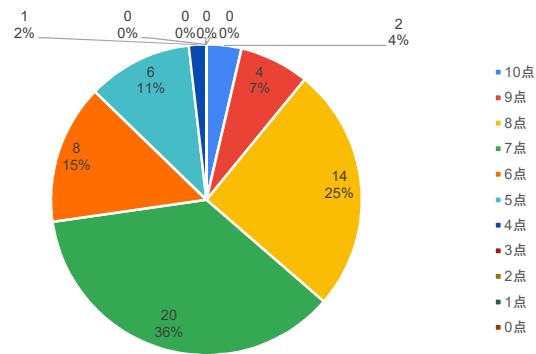
(14)-3 前問14-2で「⑤その他」を選択した方のみ、その内容を具体的に記述してください。

※回答なし

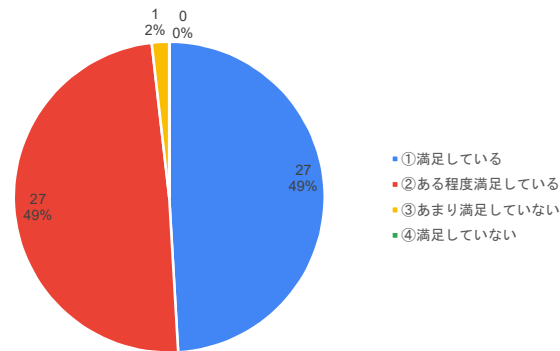
(15)全14回を通して授業の内容をどの程度理解できましたか。



(16)自分の学修について自己採点した場合、10点満点(合格点6点)だとすると、何点だと思いますか。



(17)総合的に、この授業にどの程度満足していますか。

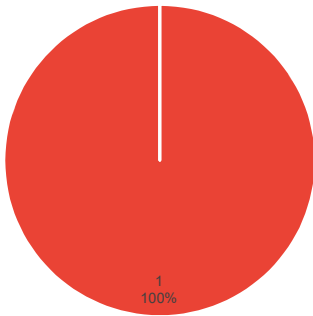


(17)-2 前問 (7)で「①満足している」「②ある程度満足している」と回答した方にお伺いします。

回答の理由として、あてはまるものをいくつでも選んでください(複数回答)。



(17)-3 前問 (17)で「③あまり満足していない」「④満足していない」と回答した方にお伺いします。  
 回答の理由として、あてはまるものをいくつでも選んでください(複数回答)。



- ①自身の受講目的が満たされない授業内容だったため
- ②授業内容が面白くなかったため
- ③いろいろな学習管理システム (manaba、Teams、e-kasei) を使用したため
- ④授業動画の視聴時間が適切でなかったため
- ⑤課題の量が適切でなかったため
- ⑥不明な点があった際、質問のし難い環境だったため
- ⑦質問をした際の対応が適切でなかった (遅い、丁寧でない) ため
- ⑧受講期間が夏休み期間中だったため
- ⑨オンデマンド配信型授業だったため
- ⑩その他

(18)今後の授業運営に向けてのご意見 (加わったら良いと思うテーマ・内容、改善点等) や感想など、自由に記述してください。

データサイエンスを学べる良い機会でした。抽選に当たることができたので良かったです。
プログラミングについての学習をもう少しして見たかったです。
生きていく上で知っているの良い知識を得ることが出来たので、この講義を受けて良かったと思いました。
受講期間で短いからこそ、集中して取り組みやすかった。
一度しっかり学べて良かったです。
統計などの後期の授業をスムーズに理解できるため、受けてよかったと思った。
今後の勉強に活用したいと思いました。ありがとうございました。
もしかしたらもうあるのかもしれませんが、データサイエンス基礎を受講した人向けにもう一段階レベルが上がった講義があれば受けたいなと思います。ありがとうございました。
実家が県外にある私にとって、データサイエンス基礎が夏季休業中にオンデマンド配信型授業で行われていた部分が、非常に良かったです。
もっと実践的なデータ分析やExcelの使い方があったら良いと思いました。
今回の授業内でグラフや表を作ったり、自身の30秒チャレンジをしたりしますが、もっと多くの実際の情報をもとに統計を取ってみるとい課題があるのも面白そうだと思います。
excelについてもっと詳しく知りたい、裏技 (もしあったら) など紹介があるとより面白そうだとおもった。
今回の講義を受講して、データに関するたくさんを知ることができたので良かった。また、Excelの使い方などを詳しく理解することができたので良かった。
今回の授業を通して、データの読み取り方や扱い方を理解することが出来たが、データを収集する方法やその注意点についてもっと詳しく教えて頂けたら良かったなと思った。
学部ごとに特化した内容、例えば栄養学部なら栄養に関するデータ計算などがあると良いと思います。
データサイエンスでは先生方の説明が分かりやすく、そのおかげで問題も解きやすかった。
第14回のゲストスピーカーの方を招いての授業がとても興味深かったです。データが自分の目指す職業でどのように使われているかを、知ることができてとても良かったのでゲストスピーカーの方をお招きする回が増えても楽しく学ぶことができるなと感じました。

### 3. アンケート結果に対する教員コメント

本科目は今年度から開講された、すべてメディア授業(オンデマンド)の科目です。データサイエンスの導入・心得・基礎に関する内容を講義・演習の両方の形式で学び、また、様々なアプリを活用しながら受講を進められるよう工夫しました。

自由記述には、「データの分析方法や、読み取り方、防災などの日常生活への活用等を覚えた。」、「講義を聞くのと実践の両方をできて良かったです。」、「エクセルや、チームス、e-kaseiなどいろいろな種類のものを活用しながら学習できたので良かった。」などのコメントが見られ、企図していたことに対して一定の評価が得られたと感じています。

また、自由記述には「統計の分野についてもう少し詳しく講義を聞きたかった。」、「全体的にもう少し踏み込んだ内容のものがあったらいいかな」といったコメントも見られたため、今後は、より深い学びの機会も検討していきたいと考えます。